

滞在型海外研究者招へいプログラム 応募要項（平成 24 年度）

惑星科学研究センター(CPS)では、惑星科学発展の中・長期的展望に立った海外研究教育機関との人材交流活動を支援する目的で、海外在住の研究者を招へいする企画の公募を行っています。

惑星科学研究センター（CPS）の紹介

惑星科学は、天文学から地球科学、生命科学におよぶ極めて広い学問分野を包含する総合科学です。その本来の目的は、宇宙の進化の中で生命を育む地球を位置づけることにあります。科学と技術の発展により蓄積された知見を通して、個々の専門分野の理解は飛躍的に深まりました。その反面、分野間のつながりが希薄となり、全体像の把握が難しくなる、という弊害も生じています。

惑星科学研究センター(CPS)はこうした弊害を克服し、惑星科学の本来の目的を達成するために、国内外に開かれた学術拠点として 2007 年 4 月に誕生しました。CPS は、大学や機関および国の枠を超えた人材育成や研究活動を支援し、惑星科学の様々な領域から研究者が集い、知見情報が集積される場を作ります。このような活動を通して、CPS は惑星科学の総合化に貢献することを目指しています。

詳しくはこちらをご参照ください：<https://www.cps-jp.org/about/index.htm>

1. 募集内容

- 被招へい者は、海外からの 1 名以上です。
- 被招へい者は主として CPS もしくは北海道大学宇宙理学専攻または低温科学研究所に滞在するものとします。ただし、招へい期間中に少なくとも一度は CPS を訪問していただきます。
- 被招へい者と研究討論などを行う目的で、国内在住研究者（複数名可）が滞在するのに必要な旅費、滞在費も合わせて申請できます。
- 被招へい者には、少人数の閉じたディスカッションだけではなく、惑星科学界の幅広い人に向けた活動もして頂くよう計画してください。例えば、ワークショップ（次項参照）、公開研究セミナー、専門外の人を対象とした教育的な講義などです。
- ワークショップの開催は推奨しており、開催にかかる費用も合わせて申請できます。ただし、ワークショップは CPS にて開催し、開催は各方面へメールリスト等で広く告知してもらいます。
- 本申請の企画により行われるセミナー、講義、ワークショップの講演は、ビデオ撮影され WEB 上に公開されることを原則とします。
- 招へい期間は 2 週間以上 3 カ月未満とします。
- 今回の募集は、平成 25 年 3 月末までに完了する招へいを対象とします。
- 1 件当たりの予算は 100 万円以下です。

2. 申請

● 申請資格

- ◇ 申請者は、惑星科学および関連する分野の研究者（PD・大学院生含む）の 1 人以上からなります。
- ◇ 申請者の筆頭に申請代表者を指定してください。申請代表者とは、企画の運営（被招へい者との日程調整・被招へい者の滞在中の世話・ワークショップの企画など）を主導的に行う者としてします。
 - 申請代表者が以下に挙げる身分に該当しない場合、該当する人を申請代表者（副）として申請者に加えてください。
 - 国公立大学法人、公私立大学、大学共同利用機関法人、独立行政法人または地方独立行政法人の運営する大学、短期大学、高等専門学校または、試験・研究機関の教員、研究員、およびこれに準ずるとセンター長が認める者
- ◇ 企画の円滑な運営のため、CPS スタッフと事前に連絡を取り申請者の中に CPS スタッフを加えてください。CPS スタッフとは、CPS 専任スタッフおよび CPS 兼任スタッフです（<https://www.cps-jp.org/member/> を参照）。

● 申請方法

末尾のテンプレートに記入のうえ PDF ファイルにして電子メールに添付して提出して下さい。

- ◇ 送付先： iccg-apply12@cps-jp.org
- ◇ 申請書ファイル名：半角で、提出日と被招へい者の名前を含めてください（例：20120915_Smith.pdf）
- ◇ メール の subject: 滞在型海外研究者招へいプログラム応募

● 申請期限

随時募集しますが、予算がなくなり次第、予告無く募集を打ち切ります。

3. 選考および通知

- 選考は、惑星科学研究センター共同事業専門委員会で決定され、受付後約 1 か月で通知します。
- 選考の指針
以下に示す観点を選考の指針とします（必ずしもすべてを満たす必要はありません）。
 - ◇ 惑星科学の分野・手法横断的活動の展開への貢献
 - ◇ 惑星科学の新領域の開拓への貢献

- ◇ CPS の推進する知見アーカイブ事業への貢献
- ◇ 広い意味での人材育成面への貢献
- ◇ 実施実現可能性

また、単発の訪問に終わるのではなく、海外研究機関との中期・長期的、継続的な交流を通じて上記観点への貢献が期待できる企画を優先的に採用します。(そのような継続的人材交流の計画に対しては、国際連携 CG エクスチェンジプログラムを通じて更なる支援も検討します。エクスチェンジプログラムについては下記 5 を参照してください。)

4. 留意事項

- 招へい終了後 1 カ月以内に、成果報告書を PDF ファイルにして電子メールに添付して提出して下さい(報告書のテンプレートは末尾にあります)。報告書の内容については、CPS ホームページおよび年次報告書に掲載します。報告書の送付先は申請書の送付先と同じです。
- 滞在中の宿泊については、CPS 指定の宿泊施設を利用して頂くことがあります。詳細は CPS スタッフを通じて照会してください。
- CPS オフィスにある滞在用デスク(最大 20)をご活用ください。被招へい者や同時期に起こしただいている関連研究者に使っていただけます。
- 本プログラムで生じた如何なる損失および事故に関しても、申請者側で対応するものとし、CPS は一切の責任を負いません。
- 成果を論文等で発表される場合は、下記を参考にして謝辞を記載してください。
 - ◇ This work is supported in part by the Center for Planetary Science running under the auspices of the MEXT Global COE program entitled "Foundation of International Center for Planetary Science".
- 平成 25 年 3 月末までに完了する招へいを対象としていますが、2 月中旬頃までにすべての予算執行が完了できるよう計画的な企画運営をお願いします。
- 本年度採用予定件数：数件
- 問い合わせ先： iccg-apply12@cps-jp.org

5. CPS 国際連携 CG エクスチェンジプログラムの紹介

エクスチェンジプログラムでは、海外研究機関との中期・長期的、継続的な交流によって、惑星科学の進展および人材育成が期待出来る研究交流を支援します。エクスチェンジプログラムは現在公募を行っていませんが、CPS 国際連携 CG の「滞在型海外研究者招へいプログラム」に採択された企画から、共同事業専門委員会により惑星科学の発展に特に効果が高いと判断したものに対して継続的な支援を行います。これまでの活動については <https://www.cps-jp.org/~iccg/pub/programs/exchange.htm> を参照してください。

滞在型海外研究者招へいプログラム申請書

※欄・ページは必要に応じて適宜追加してください。

(1) 被招へい者全員の氏名・所属・身分、および研究の概要

(2) 申請者全員の氏名・所属・身分

- 代表者を先頭にして人数分記入してください。
- 申請資格については応募要項を参照してください。

(3) 招へい期間(被招へい者が複数名のときは人数分記入)

被招へい者氏名: 期間: 年 月 日 ~ 年 月 日

(4) 招へいの目的・意義

(5) 招へい期間中の活動計画

(6) 予算の見積もり

- 具体的な用途と見積りの根拠を明記して下さい。記述不十分な場合には採択されても減額される場合があります。
- 往復旅費、国内交通費、宿泊費については実費、日当は1日1000円で見積もってください。
- 宿泊はCPS指定の宿泊施設に宿泊して頂くことがあります。
- その他、付随する活動(ワークショップ開催、国内他機関での研究活動など)に係る費用も含めることができます。

(7) 備考

